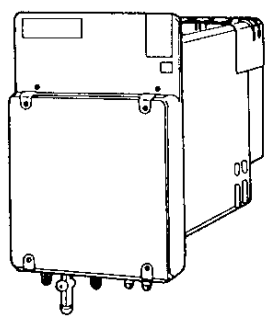
給湯機能付ガス風呂釜

パックイン 外壁貫通設置型 31-758型

型式名 WF-1300AT



取扱説明書（保証書付）

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

必ずお守りください
各部の名まえ
使用方法
凍結予防方法
点検・お手入れ
故障かな?と思ったら

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのパックインを
お求めいただきまして、
まことにありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保管してください。

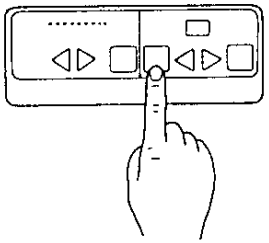
もくじ

●特長・機能の紹介……1
●必ずお守りください……2～3
●各部の名まえと扱いかた……4～5
●初めてお使いいただくときに……6
●使用方法(1)(36-773デラックスタイプをご使用の場合)
　●準備……7
　●お湯をお使いのときは……8～11
　●おふろを沸かすときは……12～17
　●呼出スイッチの使いかた……17
●使用方法(2)(36-774スタンダードタイプをご使用の場合)
　●準備……18
　●お湯をお使いのときは……18～19
　●おふろを沸かすときは……20～23
●凍結予防方法……24～25
●点検・お手入れ……26～27
●故障かな?と思ったら……28～30
●寸法図……31
●仕様……32
●保管とアフターサービス……33

特長・機能の紹介

■給湯もふろ沸かしもこれ1台でOKです。

パワフルな13号給湯器とふろ釜を一体にした1台2役のガスふろ釜です。

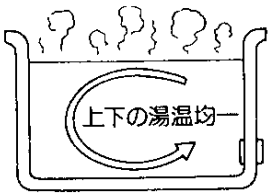


■スイッチポンでおふろが沸かせます。

ふたをして[自動]スイッチを押せば、あらかじめ決めておいた湯温、湯量で沸きあがります。
(12、20ページをごらんください。)

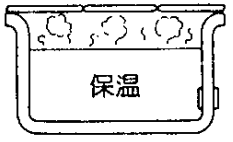
■上下の温度差がありません。

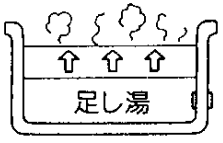
浴そうのお湯はポンプによって循環しているので均一に沸きあがり、かきまわす必要がありません。



■湯温と湯量のみはりは機器におまかせ

[自動]スイッチを押しておけば、4時間以内ならお湯が冷めれば自動で保温、お湯が減れば自動で足し湯します。
たとえばお子様とご主人の入浴時間があいても、湯かげんを気にせず、すぐ入浴できます。
(12、20ページをごらんください。)





必ずお守りください

■使用ガスについてのご注意

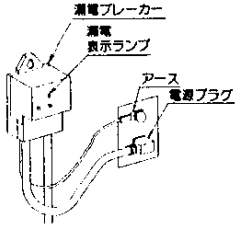
●ガスの種類を確かめてください。
器具本体（銘板）に表示してあるガスの種類以外では使用しないでください。
●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

メーカー型式
ガスの種類およびグループ
ガス消費量
使用電源
設置方式
製造年月日および製造番号
製造業者名

- 都市ガス用13A
- 都市ガス用6C
- LPガス用

■使用電源についてのご注意

●AC100V60Hz以外の電源では使用しないでください。
●電源プラグ（漏電ブレーカー）は、必ず浴室外のコンセントに差し込んでください。



■器具の設置について

●器具の設置工事はお買い求めの販売店または大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

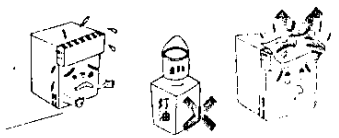
■ガス事故防止のために

●ガス漏れに、気づいたときは、すぐに使用をやめてガス元栓を閉めてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスショップもしくは、大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。
絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気器具の「入」「切」をしないでください。

使用上のご注意

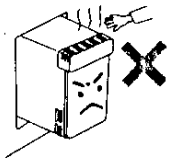
■火災予防のため

●排気口の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。

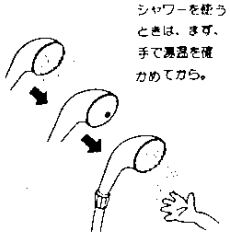


■やけどのご注意

●使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。



●シャワーの使いはじめには、いきなり体や頭にかけずに手で湯温を確認してから使用するようにしてください。使いはじめに熱いお湯がでることがあります。
シャワー、上がり湯をご使用になって湯を止めた直後やふろの追い焚きをした直後にシャワーをお使いになる場合にもそのつど確認してください。



■市販の部品使用について

●この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。

■しばらく使わなかったときは

●しばらく使わなかったとき、はじめに出てくる水は飲んだり調理に用いないでください。

■雷の時

●雷が発生しているときは、使用を中止して、電源プラグ（漏電ブレーカ）をコンセントから抜いてください。

■使用中異常がおこったら

●ご使用中に普段と違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐに使用をやめて電源プラグを抜き、ガス元栓を閉めてください。
28ページの「故障かな？と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。

■入浴剤・洗剤の使用について

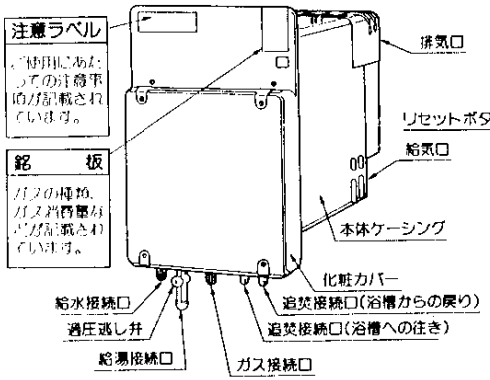
●硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤・洗剤をお使いになると機器が腐食し故障の原因となります。
お使いになるときは、入浴剤・洗剤の説明書または注意事項を確認してください。

■停電の時

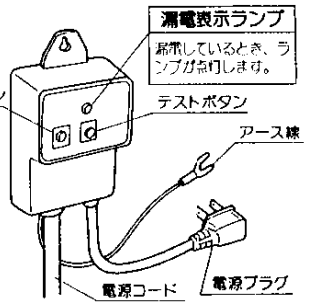
●この機器は電気で作動しますので停電中は、使用できません。
●停電中は全ての動作を停止します。通電再開後も自動的に運転されませんので、7、20ページ「使用方法」にしたがって操作をしてください。

各部の名まえと扱いかた

■本　体



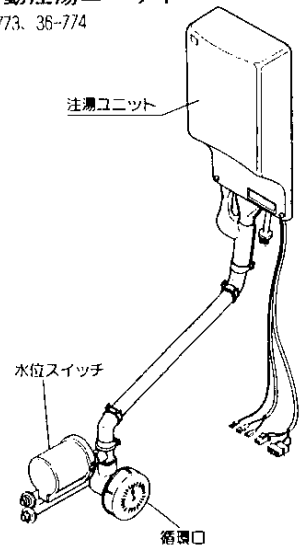
■漏電ブレーカー



■別売部品

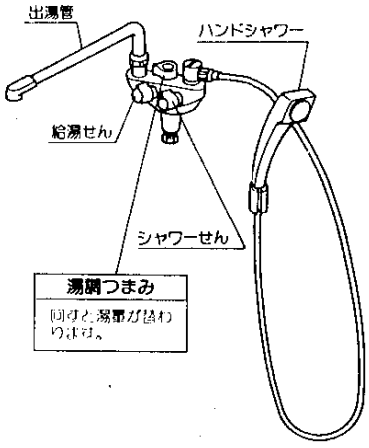
●自動注湯ユニット

36-773、36-774



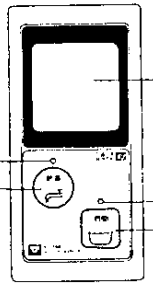
●シャワーセット

36-740、36-741



■コントローラ (36-773デラックスタイプ)

(メーンコントローラ)



表示・操作画面

温度・時刻・スイッチなどが表示されます。表示されたスイッチを押すと、温度の変更や予約運転などができます。

給湯ランプ

自動ランプ

給湯スイッチ

スイッチを押すと給湯ランプが点灯し、給湯栓を開けるとお湯が出ます。

自動スイッチ

スイッチを押すと、風呂お湯張りの自動運転となります。

少し沸かすスイッチ

スイッチを押すと、3分間風呂運転をします。

(風呂コントローラ)

自動ランプ

少し沸かすランプ

自動スイッチ

スイッチを押すと、風呂お湯張りの自動運転となります。

呼出スイッチ

スイッチを押すと給湯リモコンで呼出音がなります。

給湯・シャワースイッチ

スイッチを押すと給湯・シャワーランプが点灯し給湯リモコンでの給湯温度変更ができません。

給湯燃焼ランプ

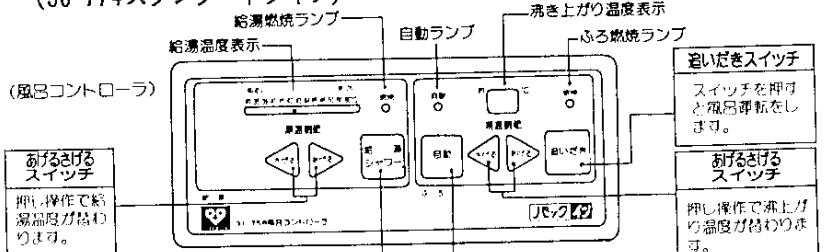
給湯温度表示

あげるさげるスイッチ

押し操作で給湯温度が替わります。

給湯・シャワーランプ

■コントローラ (36-774スタンダードタイプ)



給湯燃焼ランプ

焚き上がり温度表示

給湯温度表示

自動ランプ

ふろ燃焼ランプ

(風呂コントローラ)

追いだきスイッチ

スイッチを押すと風呂運転をします。

あげるさげるスイッチ

押し操作で給湯温度が替わります。

あげるさげるスイッチ

押し操作で焚上がり温度が替わります。

給湯・シャワースイッチ

スイッチを押すと給湯燃焼ランプが点灯し、給湯栓を開けるとお湯が出ます。

自動スイッチ

スイッチを押すと、風呂お湯張りの自動運転となります。

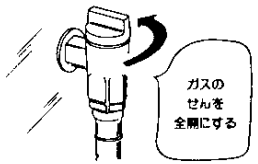
初めてお使いいただくときに

初めてお使いになるときは、まず…

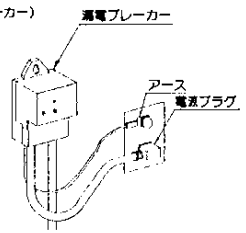
●給水元せんをいっぱいにあけます。

●給湯せん、シャワーせんを開けて、水が出ることを確認してから閉めます。

●ガスせんを開けます。



●漏電ブレーカーの電源プラグをコンセントに差し込みます。



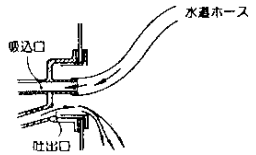
●ポンプの呼び水をします。

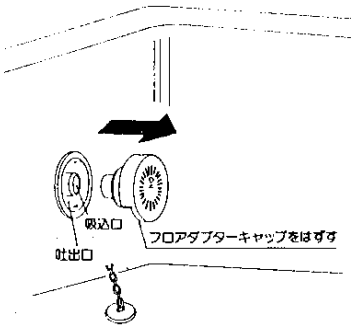
①フロアダプターキャップをはずす。

②フロアダプター中央の吸込口に水道ホースを差し込み、吐出口から連続して水が出るまで通水する。

③通水し終ったらフロアダプターキャップを元通りに取付ける。

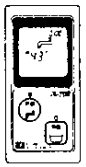
●フロアダプターキャップは「上マーク」を必ず上にして取付けてください。



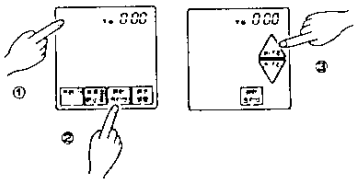


準　備

■時計合わせ



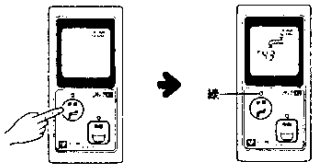
①メーンコントローラの表示・操作画面にタッチして、右図のような画面を出してください。
②「時計合わせ」スイッチにタッチすると◇スイッチが表示されます。
③◇スイッチにタッチして、現在の時刻に合わせてください。
- タッチしつづけると時刻が早く進みます。
- 約10秒間たつと◇スイッチが消えます。



■給湯の準備

メーンコントローラの「給湯」スイッチを押します。

- 給湯ランプが緑色に点灯し、表示操作画面には給湯マークと温度表示が出ます。
- 風呂コントローラも給湯温度が表示されます。



最初にお使いのときは、自動的に43℃に設定されます。

お湯をお使いのときは

■給湯

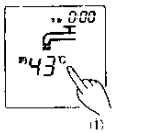
1．「給湯ランプ」が点灯していることを確かめます。

- 「給湯ランプ」が点灯していない場合は、「給湯」スイッチを押します。
- 「給湯ランプ」が緑色に点灯します。

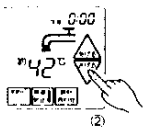
2．給湯温度をお好みの温度にセットします。

①表示・操作画面を指で軽くタッチしてください。◇スイッチが出ます。
- タッチする位置は、どの部分でも結構です。

②◇スイッチをタッチして希望の湯温に設定します。
- 給湯温度の表示は目安ですが、35～50℃、60℃、70℃、80℃の19段階に設定できます。
- スイッチを1回タッチするたびに1段階づつ調節できますが、タッチしつづけると速く動きます。
- 表示・操作画面にタッチしてから約10秒たつとスイッチが消えますが、もう一度画面をタッチすると、またスイッチが出ます。



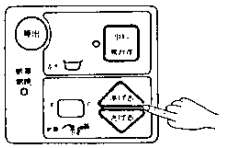
①



②

温度	
	約35℃
	36
	37
	38
	39
	40
	41
通常	42
1℃ずつ	43
	44
	45
	46
	47
	48
	49
	50
熱湯	約60℃
10℃ずつ	70
	80

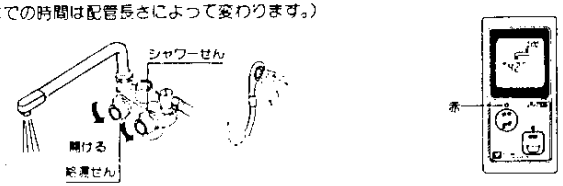
＊風呂コントローラでも◇スイッチを押せば温度設定ができます。



ご注意
- 表示している温度と給湯温度は配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。

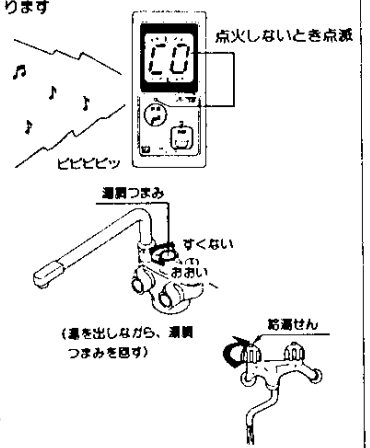
3．給湯せん又はシャワーせんを開けます。

●メーンコントローラの「給湯ランプ」、風呂コントローラの「給湯燃焼ランプ」が「赤色」に替わります。
●しばらくしてお湯が出ます。
（お湯が出るまでの時間は配管長さによって変わります。）



ご注意

●配管内の水が出てしまうまですぐにはお湯が出ません。
●はじめてご使用になるときなどは、配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。
このときはお湯が出ず、メーンコントローラの「給湯ランプ」が点滅および画面表示が [CO] で点滅します。また風呂コントローラの「給湯燃焼ランプ」が点滅します。このような場合は、給湯せん又はシャワーせんを閉じ、給湯せんを開ける操作を2～3回繰り返してください。
●給湯温度を高温にセットしていても湯温が低い場合は湯量を少なくします。
専用シャワーセットの場合は、湯を出しながら、湯調つまみを回して調節します。
台所や洗面所でご使用の場合は給湯せんを回して調節します。
しばらくして熱くなります。
●給湯せんを絞りすぎる（約2.5ℓ/min 以下）と熱いお湯が出たり、消火することがあります。

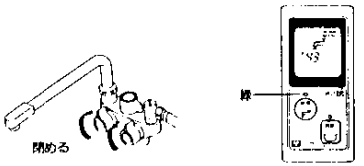


●給湯せんで湯量を絞っていくと、水の中の空気が分離して気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので心配はありません。
●2ヶ所で同時使用されますと、ぬるくなったり湯量が少なくなることがあります。
特に、シャワー使用中は同時使用を避けてください。
●夏期水温が30℃近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。
このような場合には、給湯せんをさらに開けて湯量を多く出してください。

■給湯停止

1．給湯せん又はシャワーせんを閉めます。

●お湯が止まると「給湯ランプ」「給湯燃焼ランプ」が「赤色」から「緑色」に替わります。



2．（給湯）スイッチはそのまま「入」にしておきます。

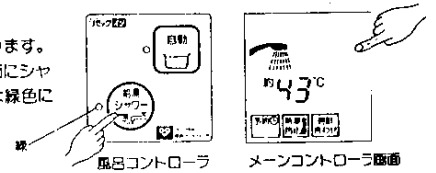
●通常「入」のままで「切」にする必要はありません。
次回お使いのとき（湯温が同じでよい場合）そのまま給湯せんの開閉のみの操作ででき便利です。

■（給湯・シャワー）スイッチの使いかた

シャワーを安心してお使いいただくために、シャワーマーク表示中（給湯・シャワー）スイッチ使用中）は、メーンコントローラで給湯温度を変えられないようにしてあります。

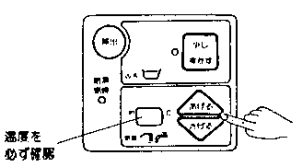
1．浴室内の風呂コントローラの（給湯・シャワー）スイッチを押します。

●給湯・シャワーランプが緑色になります。
●メーンコントローラの表示・操作画面にシャワーマークが表われ、給湯ランプは緑色になります。



2．給湯温度をお好みの温度にセットします。

●給湯温度表示で温度を確かめます。
●温度の表示が希望の湯温と違う場合は↑↓スイッチを押してお好みの温度に合わせます。



3．シャワーせんを開けます。

●給湯・シャワーランプ、給湯燃焼ランプが赤色になります。
●しばらくしてお湯が出ます。

4．使用後、シャワーせんを閉めます。

●お湯が止まると給湯・シャワーランプが緑色になり、給湯燃焼ランプが消えます。

5．── 解除 ── 給湯・シャワースイッチを押します。

●風呂コントローラの給湯・シャワーランプ、メーンコントローラの表示・操作画面のシャワーマークが消えます。
●風呂コントローラで消しわすれてシャワーマークを表示したままのときは、メーンコントローラの給湯スイッチを押せば消えます。

■ 熱湯防止 スイッチの使いかた

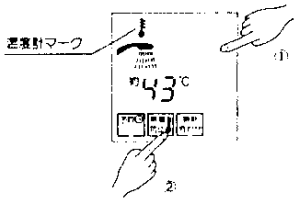
この操作をすると「熱湯防止」がはたらき、給湯温度の設定範囲は約35～50℃となります。とくにお子様やお年寄りがシャワーを使われる場合にはおすすめします。

1．メーンコントローラの表示・操作画面にタッチします。

●画面に 熱湯防止 スイッチが出ます。

2．熱湯防止 スイッチにタッチします。

●画面の左上に温度計マークが表示されます。



3．── 解除 ── 熱湯防止 をもう一度タッチします。

●画面左上の温度計マークが消え「熱湯防止」が解除されます。

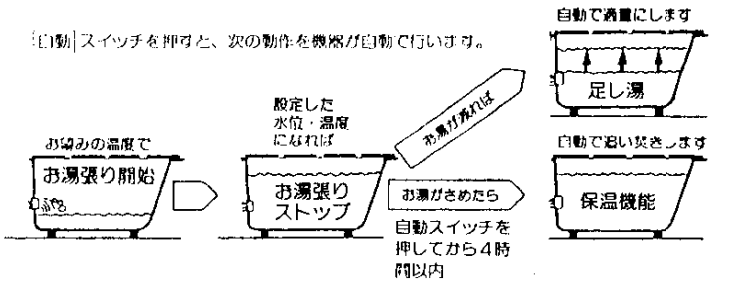
温度計表示	給湯温度の設定範囲
有	約35～50℃
無	約35～60℃

おふろを沸かすときは

■自動運転

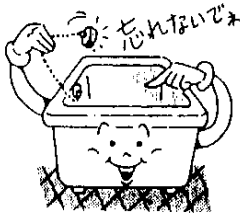
自動運転とは

自動 スイッチを押すと、次の動作を機器が自動で行います。

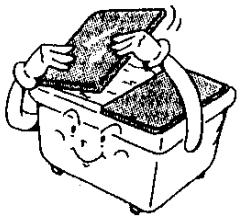


1．運転前の準備をします。

(1)排水せんを閉めます。
●おふろを沸かす前に必ず排水せんを閉めます。



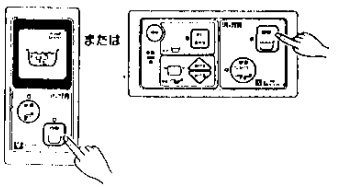
(2)浴槽にふたをします。
●この機器は浴槽にふたをしたまま、お湯張りができます。



2．自動 スイッチを押します。

●メーンコントローラにふろマークが表われ沸上げ温度が表示されます。

●自動ランプが「緑色」に点灯し、自動的にお湯張り・沸き上げを行います。

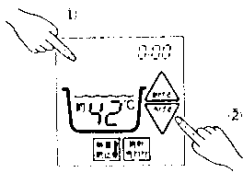


3．お好みの沸き上がり温度にセットします。

●おふろの沸き上がり温度は、お買い上げいただいた時には42℃にセットしてあります。
お好みの入浴温度が42℃と異なる場合は、つぎの要領で希望の温度にセットします。

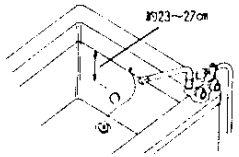
①メーンコントローラの表示・操作画面をタッチしてください。
- ふろマークの右側に▽スイッチが出ます。

②▽スイッチをタッチして希望の温度に設定します。
- ふろ温度は、目安ですが約37～50℃の範囲で設定できます。



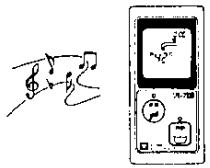
●しばらくして、浴槽のフロアダプターからお湯が出てきます。
同時にメーンコントローラの「給湯ランプ」、風呂コントローラの「給湯燃焼ランプ」が「赤色」に替わります。

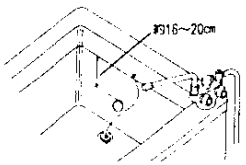
●お湯の量がフロアダプターから約23～27cmまで達すると自動的にフロアダプターから出ていたお湯が止まり、その後おふろのお湯を循環し沸かし上げます。
※メーンコントローラの「給湯ランプ」が「緑色」になり、表示操作画面は「ふろマーク」から「給湯マーク」に替わります。風呂コントローラの「給湯燃焼ランプ」が消えます。
※おふろの湯の循環が始まり、しばらくすると「自動ランプ」が「赤色」に替わります。



4．設定した温度まで沸き上がりますと自動的に保温にはいります。

●沸き上がるとメーンコントローラから約25秒間メロディが流れてお知らせします。
●自動ランプが「赤色」から「緑色」になります。
●保温中は20分毎にポンプがまわり、湯温を検知して湯温が下がっていると自動的に設定した温度まで沸かし上げます。
また、湯量が浴槽のふろアダプターから約16～20cm上の水位まで下がると（自動お湯張りが終了したときの水位から約6cm下がると）自動的にフロアダプターからお湯が出て設定水位まで足し湯します。
●保温持続時間は[自動]スイッチを押した時から約4時間です。
●4時間後「自動ランプ」が消えます。





■自動運転停止、保温停止

1．自動運転を途中で止めたいときも、再度[自動]スイッチを押します。
2．保温を途中で止めたいときも、再度[自動]スイッチを押します。

●「自動ランプ」が消えます。
●「給湯ランプ」が「緑色」になります。

自動お湯張りの場合のご注意
●浴槽の排水せんを閉め忘れて自動お湯張りした場合、お湯張り開始後約1時間経過すると自動的にお湯張りを停止します。
●[自動]スイッチを押して自動お湯張りを開始すると、給湯温度は設定のふろ温度と同じ温度に変わります。
●自動お湯張り中の給湯使用について
- 自動お湯張り中、給湯せんを開ければお湯を使用することはできますが、給湯の温度はふろの温度と同じ温度になります。また冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。
- 配管によっては、給湯せんからのお湯が出にくいことがあります。

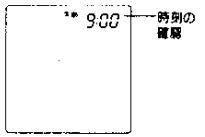
●自動お湯張り停止水位について
- 自動お湯張りが停止する水位は、あらかじめフロアダプター上端より約23～27cmに設定してありますが、約9cmの調節範囲があります。
設定水位がいちじるしく違っている場合には販売店もしくは最寄りの営業所にご連絡ください。

●浴槽に湯が残っている(フロアダプターより約20cm以上)と足し湯運転はできません。
- このような場合は給湯せんから足し湯してください。

●次のような場合は異常ではありません。
- 自動お湯張り中、浴槽のフロアダプターから「ポコ、ポコ」と気泡が出ます。
- 自動お湯張り中、注湯ユニットの上部からゆげがでることがあります。
- 自動お湯張り中は、お湯の流れる音が大きくなります。

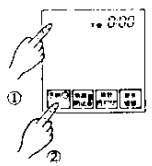
■予約でおふろを沸かす方法

1．予約前の準備をします。



①浴槽の排水せんがしっかり差し込まれていることを確かめてください。
②浴槽のふたをしてください。
③時刻があっているかどうか確認してください。
- ●時刻があっていない場合は、時計合わせを参照して合わせてください。（7ページ参照）

2．メーンコントローラで予約をします。

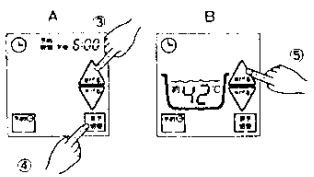


①メーンコントローラの表示・操作画面にタッチして右図のような画面を出してください。
- ●自動ランプまたは少し沸かすランプが点灯しているときには予約ができません。解除後、再操作してください。

②[予約]スイッチをタッチすると、予約マーク◷と◇スイッチが出ます。
③予約時刻の設定
◇スイッチをタッチして、入浴予定の時刻に合わせてください。
- ●タッチしつづけると、時刻が早く進みます。

④予約のふろ温度設定
[表示切替]スイッチをタッチして、右図Bの画面を出して、予約の温度を確認してください。
- ●◇スイッチをタッチして希望のふろ温度を予約してください。

⑤10秒たつともとの画面にもどり予約が完了します。

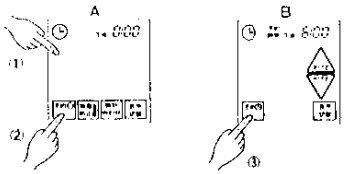


（予約時刻の設定）　（ふろ温度の設定）

3．予約時刻の30分前になると「自動運転」となります。

- ●お湯張りの開始時にメロディが鳴ってお知らせします。
- ●お湯張りが終り、沸き上がると約25秒間メロディが鳴ってお知らせします。
- ●約4時間（お湯張り開始後）は自動保温運転となります。

4．予約の解除



①メーンコントローラの表示・操作画面をタッチして右図Aの画面を出してください。

②[予約]スイッチをタッチすると右図Bの画面となります。

③再び[予約]スイッチをタッチすると予約マーク◷が消え予約が解除されます。

予約でおふろを沸かす場合のご注意
- ●浴槽の大きさによって沸くまでの時間が異なりますので、沸上がる時刻は予約の時刻とずれる場合があります。
- ●一回沸上げをすると予約運転は解除されます。翌日また予約する場合はもう一度[予約]スイッチをタッチしてください。
- ●予約の時刻とふろ温度は前回の数字が表示されます。
- ●予約中に[自動]スイッチを押したり[少し沸かす]スイッチを押すと予約運転が解除されます。

■ふろの追いだき・沸かし直し

1．風呂コントローラの[少し沸かす]スイッチを押します。

- ●スイッチを1回押すと、約3分間ふろ追いだきをします。
- ●スイッチを押すと「少し沸かすランプ」は緑色に点灯し、燃焼すると赤色になります。
- ●1回の「少し沸かす」で約1.5℃沸きますが浴槽の水量によって差があります。また、給湯・シャワーを使っているときには沸上げ温度が低くなることがあります。この場合、給湯・シャワーを止めると沸上げ温度を高くできます。

＊おふろのお湯がかなりさめている場合は自動スイッチで沸かすと便利です。

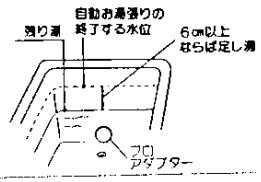
2．もう少し沸かしたいときは、再度、[少し沸かす]スイッチを押します。

- ●メーンコントローラで設定されているふろ温度より約4℃熱くなったときには、自動的に消火します。それ以上熱くしたいときは、メーンコントローラで高めに設定してください。

ご 注 意

●おふろ沸かしは、浴槽に水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴槽が空の状態からおふろ沸かしをする場合は、「自動運転」をおすすめします。

●自動運転の保温が終了しているとき(「自動ランプ」が消灯しているとき)には、自動スイッチを押して沸かし直しをすることができます。この場合、残り湯の量がフロアダプターから約16～20cm上の水位（自動お湯張りが終了したときの水位から約6cm下がった水位）より少ない場合は、設定された水位まで足し湯したうえで設定温度に沸かし上げます。

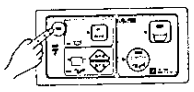


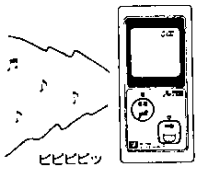
呼出スイッチの使いかた

1．風呂コントローラの呼出スイッチを押します。

●メーンコントローラから呼出音が鳴り、家族にお知らせします。

●呼出スイッチを押している間、呼出音が流れます。


風呂コントローラ



メーンコントローラ

2．呼出スイッチから指を離します。

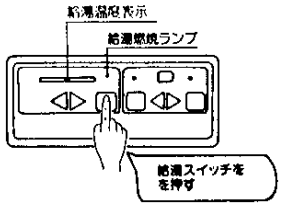
●メーンコントローラからの呼出音が止まります。

使用方法(2)

準　備

■給湯の準備

コントローラの給湯・シャワースイッチを押し「入」状態にします。



●給湯燃焼ランプが「緑色」に点灯します。

●給湯温度表示が点灯します。

お買い上げいただいた時にはお湯の温度は43℃に設定してあります。

お湯をお使いのときは

■給　湯

1．「給湯燃焼ランプ」が点灯していることを確かめます。

●「給湯燃焼ランプ」が点灯していない場合は、給湯シャワースイッチを押します。

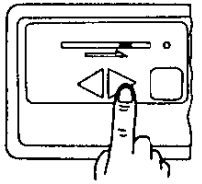
●「給湯燃焼ランプ」が点灯します。

2．給湯温度をお好みの温度にセットします。

●コントローラの「給湯温度表示」を見ながら、「あげるさげるスイッチ」を押します。

「▷」を押すと高く、「◁」を押すと低くなります。

温度調節のできる範囲は、35℃、39～46℃、50℃、60℃、80℃の12段階です。



ご 注 意

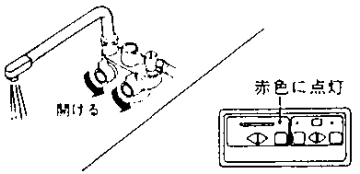
●表示している温度と給湯温度は配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。

3．給湯せん又はシャワーせんを開けます。

●「給湯燃焼ランプ」が「赤色」に替わります。

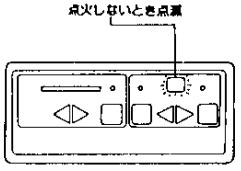
●しばらくしてお湯が出ます。

（お湯が出るまでの時間は配管長さにより変わります。）



ご注意

●はじめてご使用になるときなどは、配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。
このときはお湯が出ず「給湯燃焼ランプ」が点滅・および「沸き上がり温度表示」が［□□］で点滅します。
このような場合は、給湯せん又はシャワーせんを閉じ、給湯せんを開ける操作を2～3回繰り返してください。



■給湯停止

1．給湯せん又はシャワーせんを閉めます。

●お湯が止まると、「給湯燃焼ランプ」が「赤色」から「緑色」に替わります。

2．［給湯・シャワー］スイッチはそのまま「入」にしておきます。

●通常「入」のままで「切」にする必要はありません。
次回お使いのとき（湯温が同じでよい場合）そのまま給湯せんの開閉のみの操作ででき便利です。

おふろを沸かすときは

■自動運転

1．運転前の準備をします。

(1)排水せんを閉めます。

●おふろを沸かす前に必ず排水せんを閉めます。

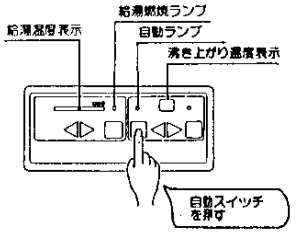
(2)浴槽にふたをします。

●この機器は浴槽にふたをしたまま、お湯張りができます。

2．［自動］スイッチを押します。

●「自動ランプ」が「赤色」に点灯し、自動的にお湯張り・沸き上げを行います。

●「沸き上がり温度表示」に沸き上がり温度を表示します。

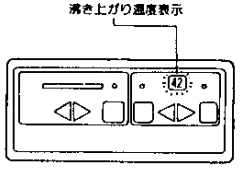


3．お好みの沸き上がり温度にセットします。

●おふろの沸き上がり温度は、お買い上げいただいた時には42℃にセットしてあります。
お好みの入浴温度が42℃と異なる場合は、「あげるさげるスイッチ」を押して希望の温度にセットします。

「▷」を押すたびに1℃ずつ上がります。

「◁」を押すたびに1℃ずつ下がります。

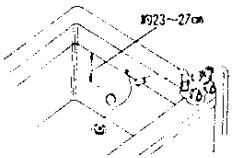


温度設定のできる範囲は37～50℃ですが、数値は目安としてお使いください。

●しばらくして、浴槽のフロアダプターからお湯が出てきます。
同時に「給湯燃焼ランプ」が「赤色」に替わります。

●お湯の量がフロアダプターから約23～27cmまで達すると自動的にフロアダプターから出ていたお湯が止まり、その後おふろのお湯を循環し沸かし上げます。

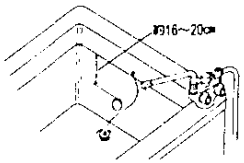
おふろの湯の循環が始まると「ふろ燃焼ランプ」が「緑色」に点灯し、しばらくして「赤色」に替わります。



4．設定した温度まで沸き上がりますと自動的に保温にはいります。

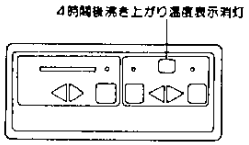
●「自動ランプ」「沸き上がり温度表示」は保温中点灯しています。

●保温中は20分毎にポンプがまわり、湯温を検知して湯温が下がっていると自動的に設定した温度まで沸かし上げます。
また、湯量が浴槽のフロアダプターから約16～20cm上の水位まで下がると（自動お湯張りが終了したときの水位から約6cm下がると）自動的にフロアダプターからお湯が出て設定水位まで足し湯します。



●保温持続時間は[自動]スイッチを押した時から約4時間です。

●4時間後、「自動ランプ」「沸き上がり温度表示」が消えます。

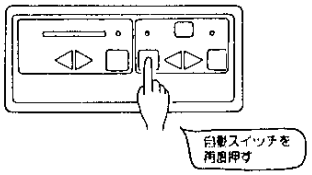


■自動運転停止、保温停止

1．自動運転を途中で止めたいときは、再度[自動]スイッチを押します。

●「自動ランプ」「沸き上がり温度表示」が消灯します。

●「給湯燃焼ランプ」が「緑色」に替わります。



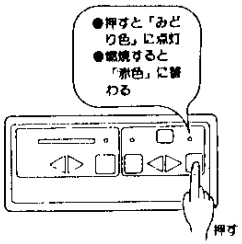
2．保温を途中で止めたいときも、再度[自動]スイッチを押します。

●「自動ランプ」「沸き上がり温度表示」が消灯します。
●「給湯燃焼ランプ」が「緑色」に替わります。

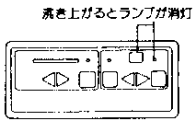
■ふろの追いだき・沸かし直し

追いだきや、前日の残り湯を沸かし直したいときは、[追いだき]スイッチを押します。

(1)おふろのお湯を循環し、沸かし上げます。
●「ふろ燃焼ランプ」が「緑色」に点灯し、しばらくして「赤色」に替わります。「沸き上がり温度表示」が点灯します。



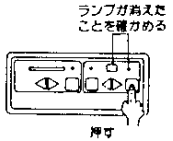
(1)設定した温度まで沸き上がると、「ふろ燃焼ランプ」「沸き上がり温度表示」が消灯し、約30秒後にお湯の循環が止まります。



■ふろの追いだき・沸かし直しの停止

ふろの追いだきや沸かし直しを途中で止めたいときは、再度 追いだき スイッチを押します。

●「ふろ燃焼ランプ」「沸き上がり温度表示」が消灯し、約30秒後にお湯の循環が止まります。

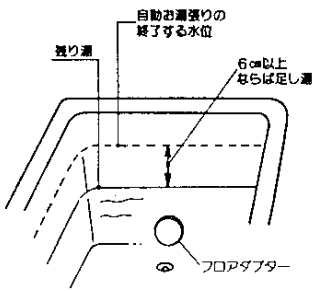


ご 注 意

●おふろ沸かしは、浴槽に水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴槽が空の状態からおふろ沸かしをする場合は、「自動運転」をおすすめします。

●自動運転の保温が終了しているとき(「自動ランプ」が消灯しているとき)には、自動 スイッチを押して沸かし直しをすることができます。

この場合、残り湯の量がフロアダプターから約16~20cm上の水位（自動お湯張りが終了したときの水位から約6cm下がった水位）より少ない場合は、設定された水位まで足し湯したうえで設定温度に沸かし上げます。



凍結予防方法

冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため器具や配管が破損することがあります。破損した場合、高額の修理費用がかかります。(有料)
冷え込みが厳しい時は、次のいずれかの方法で予防処置を行ってください。

①凍結予防ヒーターによる方法
②通水による方法

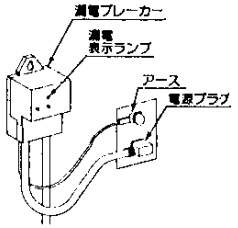
①凍結予防ヒーターによる方法

●この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。
通常は、漏電ブレーカーの電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。

●凍結予防ヒーターは、コントローラのスイッチ操作に関係なく働きます。

ご 注 意

●電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると作動しませんので注意してください。



●停電時はヒーターが作動しませんので ②通水による方法 にて破損防止の処置をしてください。

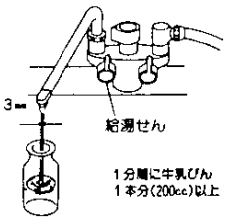
②通水による方法

1．コントローラの（給湯・シャワー）スイッチを「切」にします。

●「給湯ランプ」が消灯します。

2．ガスせんを閉めます。

3．おふろ場の給湯せんを開けて、1分間に200cc(牛乳びん1本分）ぐらいの水を浴槽に流し込みます。



●流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認します。

●浴槽に流し込んだ水は翌日の雑用水としてご利用ください。

ご注意

●凍結により、給湯せん・シャワーせんから水が出なかったり、ふろの水が循環しないときは使用をひかえ、必ず十分に水が流れるのを確かめてからお使いください。

点検・お手入れ

点検・手入れの際のご注意

●安全にお使いいただくために、日ごろの点検・手入れを行ってください。
●手入れの前には、ガスせん、給水元せんを閉め、機器が冷えてから行ってください。
●機器は絶対に分解しないでください。

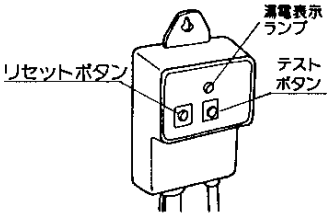
点　検

●機器の上やまわりに燃えやすいものがありませんか。
●給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。
●機器や配管から水もれしているような様子はありませんか。
●ガスのにおいはしませんか。
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
●機器の外観に異常は見られませんか。
●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。

ご注意

●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店もしくはもよりの大阪ガスショップもしくは大阪ガス支社へご相談ください。

漏電ブレーカー



●漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を行ってください。

①テストボタンを押します。→漏電表示ランプが点灯します。
②リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。

正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店もしくはもよりの大阪ガスショップもしくは大阪ガス支社へご相談ください。

手入れの方法

●機器外観やコントローラの表面の汚れがひどくてお掃除されるときは、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとったあとからぶきします。

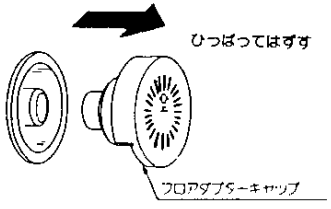
ご注意

●ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。

●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。

●リモコンケースには故意に湯や洗剤をかけないでください。

●フロアダブターキャップの汚れや詰まりのお掃除は、フロアダブターキャップをはずし水道水で洗います。
フロアダブターキャップの取り付けは上マークが必ず上になるようにして取り付けます。



●定期点検のおすすめ

●ご使用上支障がない場合でも、安全により長く、ご使用いただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご相談ください。

故障かな?と思ったら

ご使用中に、普段と違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

現象 / 原因	表示ランプが点灯しない	点火しない	点火しにくい	使用中に消火する	異常な音を立てて燃える	沸き上がりが遅い	高温の湯がでない	低音の湯がでない	給湯温度の調節ができない	自動お湯張りができない	処置方法
ガス元栓が開いていない		◎									ガス元栓を全開にする
ガス元栓の開きが不十分		○	○			○	○		○		全開にする
ガス配管内に空気が残っている		◎	○								空気が抜けるまで点火操作をする
ガス圧が適切でない		○	○	○	○	○	○				
ノズル、ガス配管の詰まり		◎				○	○				
電源プラグが抜けている	○	○									電源プラグを差し込む
停電	○	○									回復するまで待つ
漏電ブレーカーの作動	○	○									26ページを参考にする
安全装置の作動 立ち消え安全装置		◎		◎							
安全装置の作動 空だき安全装置		○		○						○	
安全装置の作動 過熱防止装置		◎		◎						◎	
循環ホース内の詰まり		○				○					詰まりを取り除く
フロアダブターキャップが外れ循環しない				◎		○					正しく取付ける
ポンプの呼び水不足		○									6ページの要領で呼び水する
給水元栓が開いていない		○									給水元栓を全開にする
給水元栓の開きが不十分		○						○			給水元栓を全開にする
水圧が低すぎる		○						○			
湯温調節湯量調節が不適切							○	○			8～9ページ、18ページを参考にする
凍結している		○									解凍まで使用を中止する
電気部品の故障		○		○					○	○	

※上の表で、○印の場合は警報（コントローラエラー表示点滅）になります。

※ぐあいの悪いときは、上の表を参考にして処置してみてください。上表の中で処置方法が空欄になっている故障の場合は自分で修理なさらずに、お買い求めの販売店または大阪ガスショップもしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

※不完全な修理は、事故のもとになります。

次のような場合は、故障ではありません

状　況	理　由
給湯せんを開いてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯せんまでは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする	消火後7分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
ふろ燃焼ランプが消灯してもしばらく音がする	消火後30秒間はポンプを回転させて余熱を回収しています。
排気口から寒い日に白い湯気がでる	排気の中の水蒸気が寒さで白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって表われるためのものです。異常ではありません。
ふろ追いだきを始めるとフロアダクターからポコポコ音がして泡が出る	ふろ追いだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。

表示ランプが点滅しているときは

●この機器が異常や故障になったときのエラーメッセージの表示です。

状　況	点検事項と操作
1．[C0] [C1] [C2] [C3] が点滅 ●36-773の場合 表示・操作画面に出ます ●36-774の場合 沸上がり温度表示に出ます	①ガスせんが全開になっていますか。 ●もし全開になっていないときは全開にします。 ②エラーメッセージの点滅を解除します。 ●給湯・シャワーを使用のときは[給湯]あるいは[給湯・シャワー]スイッチを押します。 ●ふろ自動を使用のときは[自動]スイッチを押します。 ●ふろ追いだきを使用のときは[追いだき]スイッチを押します。 ●少し沸かすを使用のときは[少し沸かす]あるいは[自動]スイッチを押します。 ③7～23ページの操作をやり直します。
2．[P0] [P1] が点滅	①浴槽の循環口から10cm以上湯(または水)が入っていますか。 ●不足しているときは浴槽に湯(または水)を入れます。 ●湯(または水)があるときは、ポンプの呼び水不足が考えられます。6ページの要領でポンプの呼び水をします。 ②エラーメッセージの点滅を解除します。 ●上の1．②項の方法と同じ操作をします。 ③7～23ページの操作をやり直します。
3．[P2] [U0] [U1] [U2] [U3] [LO] [L1] [L2] [L3] [HO] [H1] [H2] [FO] [F1] が点滅	機器内部の安全装置がはたらいています。 ①エラーメッセージの点滅を解除します。 ●上の1．②項の方法と同じ操作をします。 ②7～23ページの操作をやり直します。

●何度も同じエラーメッセージが表示される場合は、ご自分で修理なさらないでお求めの販売店か最寄りの大阪ガスショップもしくは大阪ガス支社へご相談ください。

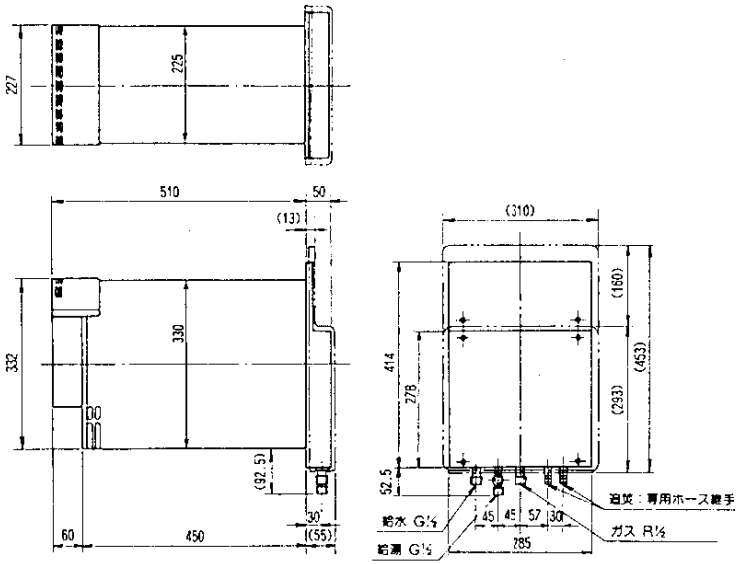
●使用途中でコントローラのランプが点灯しなくなった場合、マイコンの安全装置または漏電ブレーカーの作動が考えられますので、26ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

ご注意

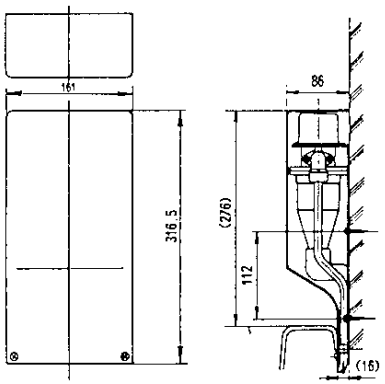
●給湯・シャワーとふろを同時に使用していて警報になったときは[給湯]あるいは[給湯・シャワー]と[自動]あるいは[追いだき]スイッチをそれぞれ押して警報を解除してください。

寸法図

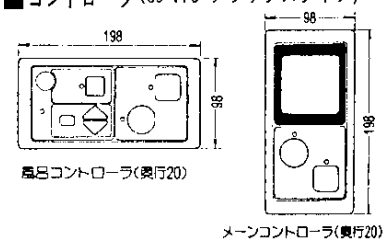
■本　体



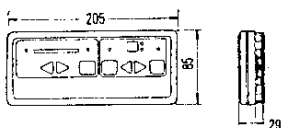
■自動注湯ユニット (36-773 36-774)



■コントローラ (36-773 デラックスタイプ)



■コントローラ (36-774 スタンダードタイプ)



仕 様

外形寸法（本体）		幅310×高495×奥行565		
壁貫通部寸法		幅227×高332×奥行510		
重量		25kg		
ガス種		都市ガス6C	都市ガス13A	LPガス
標準ガス消費量	ふろ	1.67㎥/h	0.68㎥/h	0.63kg/h
	給湯	5.11	2.18	1.95
	ふろ＋給湯	6.44	2.82	2.58
接続寸法	ガス	R1/2（強化ガスホース仕様）		
	給水	15A（G1/2Bオネジ）		
	給湯	15A（G1/2Bオネジ）		
	ふろ循環	13mm耐熱ホース		
安全装置		立消え安全装置・空だき安全装置 空だき防止装置・ファン回転検知 過圧防止安全装置・過熱防止装置 凍結防止装置 漏電ブレーカー		
電気定格	電源	AC100V　60Hz		
	消費電力	最大140W（低温作動ヒーター80W）		
最低作動水圧		0.3kg/㎠		
付属部品		漏電ブレーカー付電源コード、 ふろ循環ホース（締付バンド付）、本体取付金具一式		

■出湯能力

ガス種	標準号数（号）		温度上昇と標準出湯量（ℓ/min）				
			15(deg)	25	30	40	50
都市ガス13A、LPガス	能力大	13	21.7	1.3	10.8	8.1	6.5
	能力小	2.7	25	2.7	—	—	—
都市ガス6C	能力大	12	20	12	10	7.5	6
	能力小	3.3	5.5	3.3	—	—	—

保管とアフターサービス

●長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
(1)ガスの元せんを閉じる。
(2)給水元せんを閉じる。
(3)電源プラグを抜く。
(4)器具の水抜きを行なう。

●アフターサービスのお申し込み

サービス(点検・修理)を依頼される前に
「故障かな?と思ったら」(28~30ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。
●ご連絡の際には次のことをお知らせください。
1．品名……バックイン
2．大阪ガス商品コード……器具の前面右上部に貼付してあります。

例

(N) 31-758 (U)
大阪ガス株式会社 04

3．故障・異常の現象……できるだけ詳しく
4．お客様名、住所、電話番号、道順

●転居される場合

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

●保証・補修について

●保証期間中は……
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市中央平野町4丁目1番2号	☎大 阪 06 (202)2221
南 支 社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大 阪 06 (652)0001
北 支 社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大 阪 06 (301)1251
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎ 堺 0722(38)1131
北部支社	〒569 高槻市藤の里町39番6号	☎高 槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西 宮 0798(26)3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河 内 0729(62)1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16番17号	☎枚 方 0720(41)1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神 戸 078(576)5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸通御池角	☎京 都 075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈 良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1番5号	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫 路 0792(85)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29−1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊 岡 0796(23)2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒畑680の1	☎草 津 0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12番11号	☎彦 根 0749(22)3131
(長浜営業所)	〒526 長浜市南呉服町3番4号	〒長 浜 0749(62)7171

大阪ガス株式会社

お ね が い

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

734T0168FJ